

# 価値創造プロセス

あすか製薬ホールディングスは、100年にわたり培った「あすかのDNA」を成長の源泉とし、医療用医薬品事業・アニマルヘルス事業・検査事業を展開し「スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー」を目指しています。こうした価値創造の循環を通じて、ヘルスケア領域における社会課題の解決に貢献していきます。

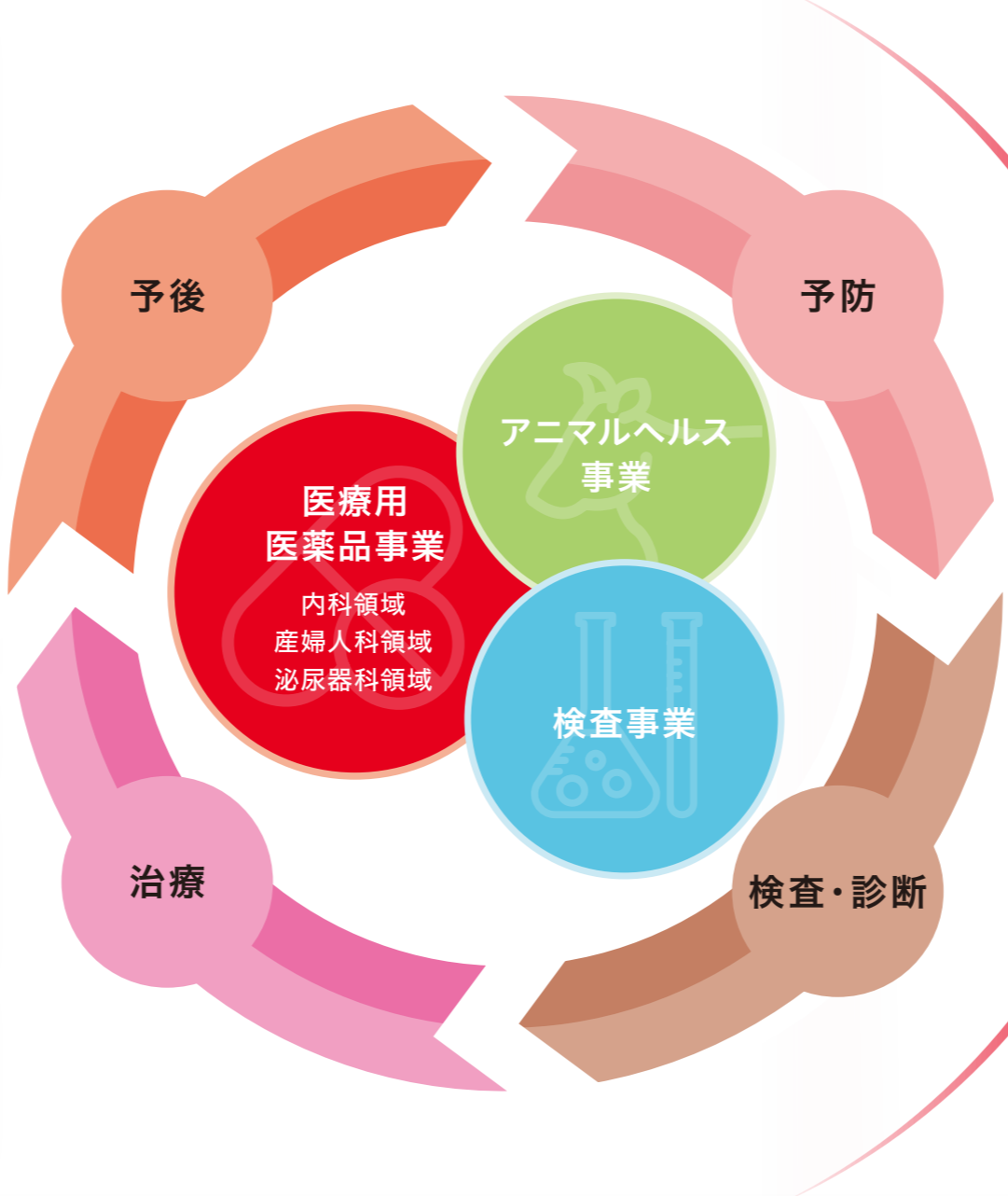


- 有効で安全な医薬品の安定供給
- 女性の社会進出への貢献
- アンメットメディカルニーズへの対応
- 動物の健康
- 健康寿命の延伸

11の  
マテリアリティ

女性の健康への貢献  
アニマルヘルスへの貢献 ほか

- 財務資本**  
売上高：604億円  
営業利益率：8.4%  
ROE：8.2%
- 製造資本**  
設備投資額：12億円  
生産拠点：いわき工場
- 知的資本**  
研究開発費：42億円
- 自然資本**  
CO<sub>2</sub>排出量：10,780t-CO<sub>2</sub>  
電力使用量：10,702千kWh  
水使用量：138.73千km<sup>3</sup>
- 社会関係資本**  
主要事業所：23拠点
- 人的資本**  
従業員数：747名(連結)



- 経済価値**  
2025年度目標(連結)  
売上高：700億円  
営業利益率：8%  
ROE：8%
- 社会的価値**  
高品質な医薬品の安定供給  
オープンイノベーションによる創薬の推進  
トータルヘルスケアに向けた新たな取り組みと価値提供  
女性のQOL向上、女性活躍推進  
人と動物の共生  
ヘルスリテラシーの向上  
予防医療・未病改善

目指す姿

スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー

コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの徹底 / サステナブル経営

経営理念： 先端の創薬を通じて 人々の健康と明日の社会に貢献する